

## 宇都宮市立白沢小学校 第4学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」と肯定的回答した児童の割合は、80.4%であり、県平均を7.2ポイント上回っている。これからも、授業の中でペア学習やグループ活動などを多く取り入れ、言語能力の向上につなげたい。

○「家でテストで間違えた問題について勉強している」と肯定的回答した児童の割合は、86.0%と、県平均を19.7ポイント上回っている。今後は復習の仕方の指導に力を入れ、確実に定着させたい。

○「学校の決まりを守っている」と肯定的回答した児童の割合は98.0%であり、ほとんどの児童がきまりを守っている。この素直さを生かし、学習に取り組ませたい。

●休日の学習時間が1時間未満の児童は、59.6%を占めている。家庭と連携を図り、宿題の取組み状況の確認を依頼するなどして、全員が確実に家庭学習に取り組めるように努めていきたい。

●「家で自分で計画を立てて勉強している」や「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに、自分で考えた勉強をしている」の設問に関して、肯定的回答した児童の割合は、県平均より低い傾向が見られた。自主学習ノートの内容や進め方などを工夫し、自ら学習に取り組む意欲を育てるとともに、自立した学習ができるよう指導に努めたい。

●「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている」と肯定的回答した児童の割合は、県平均を3.2ポイント下回っている。話の聞き方や耳を傾けることの意義を改めて指導し、最後まで話や意見を聞けるようにさせたい。

●「授業で自分の考えをまとめて書くことは難しい」と感じている児童が66.7%いる。自分の考えを書く機会を多く設けるなど、少しずつ書くことに慣れさせていきたい。